

大義なき解散にNO!  
税金約730億円の公費負担  
※2024年衆院選

議員定数1割削減で、捻出される金額は年約40億円。  
その18年分を、1回の選挙で費やします。  
衆議院議員の任期は4年。  
しかし政治家の都合で、約1年3ヶ月で解散。  
税金の無駄です。  
必要なのは解散ではなく、暮らしの支えです。

予算成立を最優先!  
解散で生活支援を遅らせない

物価高から暮らしを守る!  
前回公約の食品消費税0%と  
寒冷地支援の拡充

新年度予算が止まれば、給食費無償化などの新規給付・補助が遅れます。  
国民生活に直結する政治を最優先に。

灯油・電気・ガスなど、寒冷地のエネルギー負担を軽くする対策を前へ。  
松木けんこうが以前から公約として取り組んでいる「食料品の消費税0%」を実現し、さらなる現実的な減税を目指します。  
(党公約以上の提案)



松木けんこう  
の基本理念

松木けんこうは、皆さんの命と暮らしを守り、「しあわせの土台づくり」に邁進いたします。

## 松木けんこうのプロフィール

1959年2月22日生まれ（66歳）

◇学歴 札幌大蔵学園札幌幼稚園、幌北小学校、北辰中学校を経て、新琴似中学校、札幌光星高等学校、青山学院大学

◇職歴 藤波孝生元官房長官の秘書

学校法人淳心学園理事長（札幌わかくさ幼稚園・北海道千歳リハビリテーション大学）

（株）北海道通信社 代表取締役社長

北海道ボクシング連盟名誉会長、北海道アーチェリー連盟会長、北海道トランポリン協会会長（道央トランポリン協会会長兼務）

北海道バイアスロン連盟副会長

◇政治の歩み

2003年第43回衆議院議員選挙にて初当選以降7回当選

農林水産大臣政務官、衆議院決算行政監視委員長、衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長を歴任



# 生活者ファーストの政治の実現へ

## 物価高対策・地域経済・格差是正

前回公約の食料品消費税0%を実現し、さらなる減税を目指します（党公約以上の提案）。

- ・寒冷地のエネルギー料金（灯油・ガス・電気など）支援を拡充。
- ・円安影響における中小企業への支援と、社会保険料の負担減。
- ・社会保険加入の「130万円の壁」を引き上げ、手取り増と人手不足解消へ。
- ・AI・半導体の推進と人材育成を強化し、「北海道で学べば、北海道で働く」環境へ。
- ・道内の農林水産加工業を後押しし、食料自給率向上など安全保障を強化。
- ・非正規の待遇改善と正規化を進め、「同一価値労働・同一賃金」を実現。



## 子どもを育てやすい国づくり

過去にない規模で子育て支援を拡充し、育てやすい環境へ。

- ・教育費・給食費の無償化を推進。
- ・子育て施策の所得制限を撤廃。
- ・児童虐待・いじめ・自殺に対応する相談体制を強化。
- ・奨学金返済の免除制度を拡充し、既に返済している人の債務も減免。



## 除雪・交通対策

- ・国交付の除排雪費用の基準を明確化し、体制を強化。
- ・バス路線維持へ、事業者支援を強化。
- ・人と貨物の重要なインフラであるJR北海道の支援と、北海道新幹線早期延伸。
- ・丘珠空港の利活用と周辺整備を進め、自動運転バスなど先端技術を導入。



松木けんこうは  
やりきります

## 医療・介護・福祉・年金

- ・救急・周産期医療の持続可能な体制構築に向けて、DX化とチーム医療を推進。
- ・地域包括ケアシステムにおける医療・看護・介護・福祉の重層的支援を強化。
- ・医療や福祉介護従事者の増員と待遇改善に向けて、物価高に沿った診療・介護報酬を見直し。
- ・障がいのある方への支援と就労機会を拡大し、共生社会の実現へ。
- ・公的年金制度の一元化と年金制度の抜本改革を推進。



## 防災・領土・環境

- ・地域特性を踏まえた防災・減災計画を策定し、体育館など避難所の冷房設置を推進。
- ・北方領土の早期返還に向けて、戦略の見直し。
- ・ヒグマの市街地出没に対し、国が生態調査を実施し野生動物の専門職員の配置及び、管理活動を行う「実働組織」の整備。



## 信頼される政治に向けて

- ・国民の生活に密着した政治を最優先に進めます。
- ・裏金問題の再発防止のため、政治資金規正法を改正し、厳罰化を推進します。